

2025年度

エコドライブ活動コンクール

優秀取組事例集



公益財団法人

交通エコロジー・モビリティ財団

目次

● エコドライブ活動コンクールとは	3
● コンクール概要	5
● 募集結果	7
● 表彰式	9
● 受賞者一覧(大臣賞・審査委員長特別賞・優秀賞)	11
● エコドライブ優秀活動認定事業者一覧	12
● 優良受賞事業者一覧	13
● エコドライブ優良活動認定事業者一覧	14
● 二次審査応募事業者一覧	15
● 大臣賞受賞事業者の取組事例紹介	
国土交通大臣賞(事業部門)	
花王ロジスティクス株式会社 石狩LC	17
環境大臣賞(一般部門)	
沖縄トヨタ自動車株式会社	21

● 審査委員長特別賞のエコドライブ支援機器・サービス紹介	
審査委員長特別賞（支援ビジネス・ユニーク部門）	
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	
「テレマティクス自動車保険・サービス提供によるエコドライブ支援取組」	…… 25
eMotion Fleet 株式会社「商用EV導入・運用ワンストップサービス」	…… 27
● 上位受賞事業者の取組事例紹介	
優秀賞（事業部門）	
北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店	…… 29
SBフレームワークス株式会社	…… 33
株式会社タカキ物流サービス 秦野営業所	…… 37
株式会社エネックス 大井川営業所	…… 41
優秀賞（一般部門）	
株式会社日産フィナンシャルサービス	…… 45
久屋産業株式会社	…… 49
● エコドライブ活動の応用取組	…… 53
● 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介	…… 55

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」（運輸関係等16団体で構成）の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者などを表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動について取組内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取り組むことが社員の意識向上につながります

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります



● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります

審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主 催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後 援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(公社)日本バス協会、(一社)日本自動車連盟、(公社)全日本トラック協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国レンタカー協会、(一財)環境優良車普及機構、(一社)日本自動車運行管理協会、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
支援ビジネス・ユニーク部門	メーカー等の企業によるエコドライブを支援する機器やサービス。運輸事業部門での脱炭素(カーボンニュートラル)に向けた実施策など。(例 荷主や輸送事業者における非化石エネルギーへの転換に向けた取組みなど)さまざまな主体が実施するエコドライブに関する独自の取組み。(例 SDGs とコラボレーションしたエコドライブの取組みなど)

- スケジュール： 応募期間 2025年5月8日(木)～7月8日(火)
表彰式 2025年11月27日(木)開催の「2025年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

● 審査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

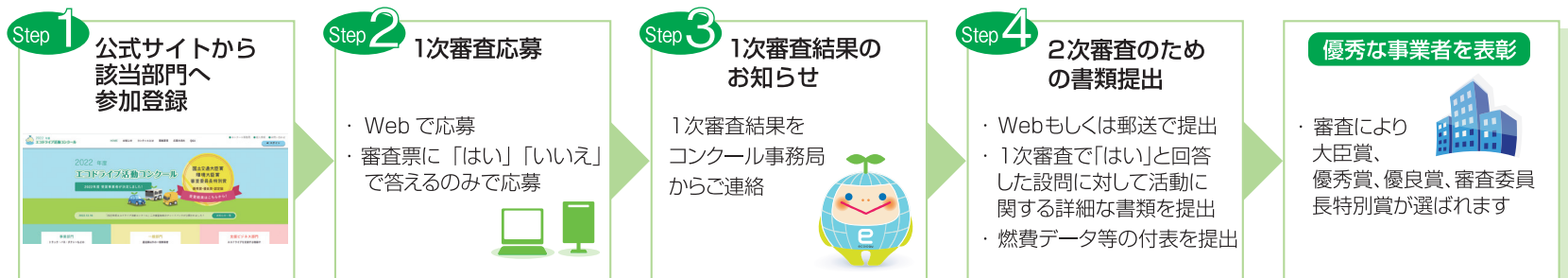
1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組みを実践しているか。

※ただし、支援ビジネス・ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組みを評価します。

● 表彰	国土交通大臣賞(事業部門)	1件
	環境大臣賞(一般部門)	1件
	審査委員長特別賞(支援ビジネス・ユニーク部門)	2件
	優秀賞(事業部門・一般部門)	6件
	優良賞(事業部門・一般部門)	29件

● 応募費用：無料

● コンクールの流れ



募集結果

◎参加数

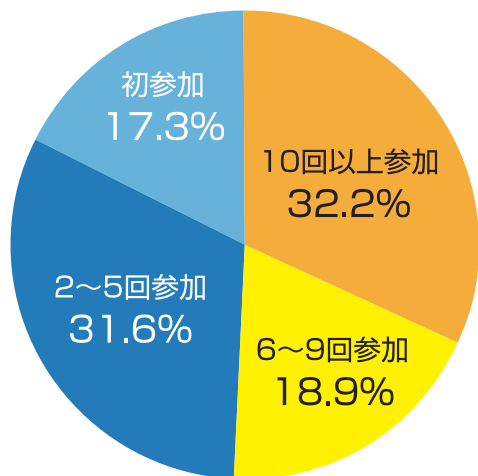
全部門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	306	814	43,381	29,304
二次審査	172	591	23,435	23,850

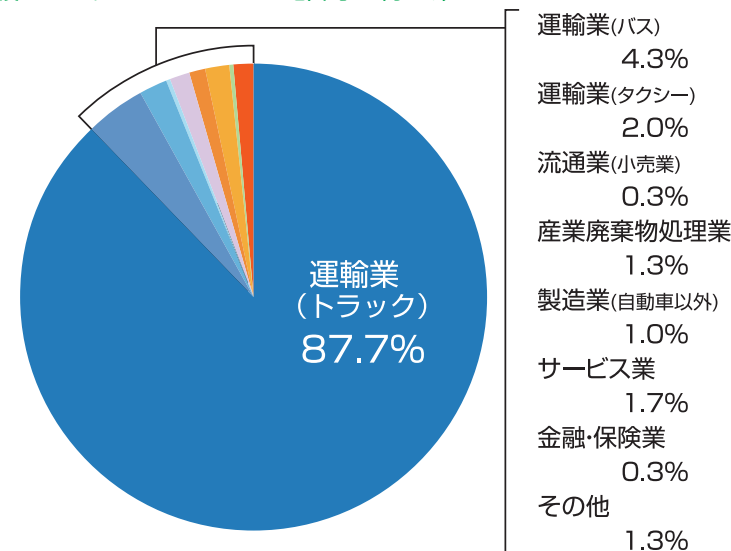
部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	283	691	39,419	27,080
一般部門	18	100	3,145	2,054
支援ビジネス・ユニーク部門	5	23	817	170

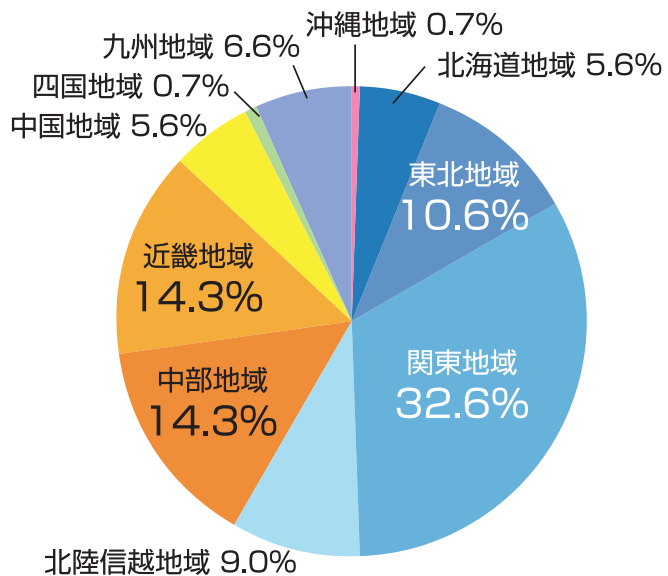
● 新規・継続応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



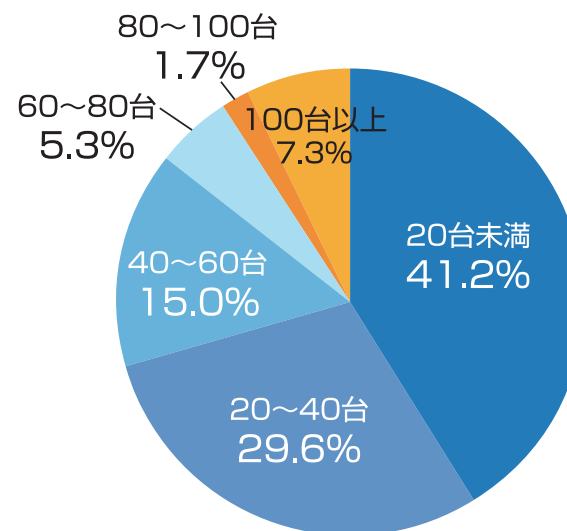
● 業種別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



● 地域別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合 (支援ビジネス・ユニーク部門を除く)



表彰式

「2025年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日 時：2025年11月27日(木) 13:30～16:05

場 所：全日本トラック総合会館 全ト協ホール(東京都新宿区)



前列左より (敬称略)

早稲田大学 大聖名誉教授、環境省 水・大気環境局 平澤モビリティ環境対策課長、沖縄トヨタ自動車(株) 崎原代表取締役副社長、花王ロジスティクス(株) 石狩LC 中村所長、国土交通省 三宅総合政策局次長、(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 田端会長

後列左より

(株)日産フィナンシャルサービス 山口主管、北海道フーズ輸送(株) 旭川支店 野原執行役員、(株)タカキ物流サービス 秦野営業所 田中所長、eMotion Fleet(株) 白木代表取締役社長、あいおいニッセイ同和損害保険(株) 南波常務執行役員、SBフレームワークス(株) 菅野代表取締役社長、(株)エネックス 大井川営業所 山本様



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



審査講評



花王ロジスティクス(株) 石狩LC
取組紹介



沖縄トヨタ自動車(株)
取組紹介



記念楯

受賞者一覧



グリーン経営認定取得事業者(2025年11月15日時点)



国土交通大臣賞

事業部門

花王ロジスティクス株式会社 石狩LC

北海道



環境大臣賞

一般部門

沖縄トヨタ自動車株式会社

沖縄県



審査委員長特別賞

支援ビジネス・ユニーク部門

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
eMotion Fleet株式会社

東京都

東京都



優秀賞

(都道府県順)

事業部門

 北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店

北海道

SBフレームワークス株式会社

東京都

 株式会社タカキ物流サービス 秦野営業所

神奈川県

 株式会社エネックス 大井川営業所

静岡県

一般部門

株式会社日産フィナンシャルサービス

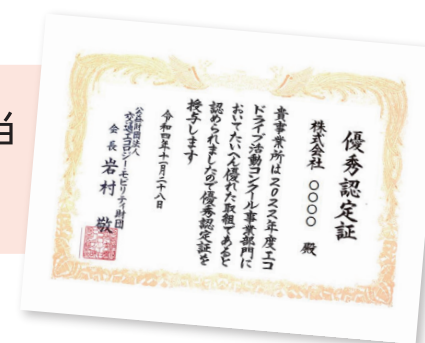
千葉県

久屋産業株式会社

福岡県

エコドライブ優秀活動認定事業者一覧 (都道府県順)

表彰規定により、より上位の賞でなければ連続して受賞できない事業者で、優秀賞相当の取組を継続していると評価された事業者を認定するものです。



事業部門

	SBS三愛ロジスティクス株式会社 物流センター宮城第二	宮城県
	SBS三愛ロジスティクス株式会社 山形営業所	山形県
	磐城通運株式会社	福島県
	F - L I N E 株式会社 栃木物流センター	栃木県
	石原運輸株式会社	栃木県
	有限会社古川商事運輸 本社営業所	東京都
	株式会社ロジパルエクスプレス	東京都
	上越運送株式会社	新潟県
	新潟陸運株式会社	新潟県
	南信州広域タクシー有限会社	長野県
	西濃運輸株式会社	岐阜県
	東和通商株式会社	静岡県
	株式会社中田商事	三重県
	有限会社裕進運輸 本社営業所	三重県

一般部門

ネットヨタ山形株式会社	山形県
株式会社利根川産業	東京都
DINS関西株式会社	大阪府











優良受賞事業者一覧 (都道府県順)



優良賞

(都道府県順)

事業部門

 株式会社丸運トランスポート札幌 本社	北海道	 平沢運輸株式会社 磯子営業所	神奈川県
 株式会社エネックス 東北支店 青森営業所	青森県	 株式会社 INPEX ロジスティクス 本社営業所	新潟県
 株式会社タムラ	福島県	 株式会社エネックス 新潟支店	新潟県
 株式会社エネックス 関東 LNG 支店茨城営業所	茨城県	 星崎運輸株式会社 富山営業所	富山県
 ケーエルサービス東日本株式会社 茨城営業所	茨城県	 星崎運輸株式会社 金沢支店	石川県
株式会社吉澤運送	茨城県	株式会社マーリス	静岡県
F - L I N E 株式会社 尾島物流センター	群馬県	 株式会社オーエヌトランス 本社営業所	愛知県
F - L I N E 株式会社 北関東支店	埼玉県	 太陽運輸株式会社 長浜営業所	滋賀県
 花王ロジスティクス株式会社 岩槻営業所	埼玉県	 株式会社福田物流 本社営業所	大阪府
青翔運輸株式会社 本社営業所	埼玉県	 株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所	兵庫県
 株式会社東配 本社営業所	埼玉県	花王ロジスティクス株式会社 岡山東営業所	岡山県
 株式会社ギンテック	東京都	 日の丸タクシー株式会社 本社営業所	岡山県
 株式会社渡辺運輸 本社営業所	東京都	今井運送株式会社	広島県
 ケーエルサービス東日本株式会社 湘南営業所	神奈川県	花王ロジスティクス株式会社 広島営業所	広島県
 小林運輸株式会社 本社営業所	神奈川県		

エコドライブ優良活動認定事業者一覧 (都道府県順)



昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、今年度も同水準を継続している事業所および一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。

事業部門

 SBS三愛ロジスティクス株式会社 北海道支店札幌営業所輸配送係	北海道	 株式会社エネックス 関東LNG支店	神奈川県
 株式会社エネックス 苫小牧営業所	北海道	 花王ロジスティクス株式会社 川崎営業所	神奈川県
 株式会社エネックス 北海道支店	北海道	 花王ロジスティクス株式会社 新潟センター	新潟県
 北海道フーズ輸送株式会社 旭川第3物流センター	北海道	 東西運輸株式会社 東港営業所	新潟県
 花王ロジスティクス株式会社 仙台LC	宮城県	 平沢運輸株式会社 竜王営業所	山梨県
 カメイ物流サービス株式会社 エネルギー物流部多賀城営業所	宮城県	 株式会社エネックス 中部支店	愛知県
 ケーエルサービス東日本株式会社 仙台営業所	宮城県	 有限会社クリヤー梱包 本社営業所	愛知県
 株式会社トレンディ茨城 本社営業所	茨城県	 株式会社エネックス 西日本支店	大阪府
 株式会社高田運送 本社	栃木県	 扇町運送株式会社 本社	大阪府
 平沢運輸株式会社 石橋営業所	栃木県	 共伸商事株式会社 本社営業所	大阪府
 有限会社美松運送 本社営業所	群馬県	 南海バス株式会社 井高野営業所	大阪府
 F-LINE 株式会社 三郷物流センター	埼玉県	 株式会社中津急行 本社営業所	大分県
 株式会社丸運トランスポート東日本 千葉支店市原営業所	千葉県	 内外運輸株式会社 業務管理部 西原営業所	沖縄県
 国際自動車株式会社 T2 三鷹営業所	東京都		
 東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	東京都		




















一般部門









株式会社トヨタレンタリース熊本 熊本県

二次審査応募事業者一覧 (都道府県順)

事業部門

 株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	北海道	 ケーエルサービス東日本株式会社 東京東営業所	東京都
 幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	北海道	 株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	東京都
 札幌第一観光バス株式会社 本社営業所	北海道	 SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	神奈川県
 北海道中央バス株式会社	北海道	 上野輸送株式会社 本社	神奈川県
 SBS三愛ロジスティクス株式会社 東日本支社 南東北支店 東北物流課	宮城県	 株式会社日新陸運 本社営業所	神奈川県
 株式会社エネックス 東北支店	宮城県	 株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	神奈川県
 コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 蔵王車庫	宮城県	 株式会社エネックス 関東LNG支店磯子営業所	神奈川県
 株式会社エネックス 秋田支店	秋田県	 ケーエルサービス東日本株式会社 横浜営業所	神奈川県
 株式会社エネックス 秋田支店 庄内営業所	山形県	 国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	神奈川県
 F-LINE 株式会社 久喜物流センター	埼玉県	 日京運輸株式会社 鶴見営業所	神奈川県
 株式会社小嶋衛生社	埼玉県	 株式会社パール横浜 横浜営業所	神奈川県
 光和輸送株式会社 本社営業所	埼玉県	 第三貨物自動車株式会社 本社営業所	新潟県
 株式会社JKトランス 市川営業所	千葉県	 株式会社日本海開発	石川県
 花王ロジスティクス株式会社 沼南センター	千葉県	 ののいちバス株式会社 本社営業所	石川県
 平沢運輸株式会社 市原営業所	千葉県	 敦賀観光バス株式会社 本社営業所	福井県
 平沢運輸株式会社 千葉営業所	千葉県	 福岡トランス株式会社 福井営業所	福井県
 宮松城南株式会社 千葉工場	千葉県	 SBSリコーロジスティクス株式会社 東静岡支店 輸送課	静岡県
 SBSリコーロジスティクス株式会社 輸配送二課	東京都	 松葉倉庫運輸株式会社 本社営業所	静岡県
 株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	東京都	 SBS三愛ロジスティクス株式会社 東海支店 マシン物流課 名港営業所	愛知県
 花王ロジスティクス株式会社 八王子営業所	東京都	 エムケー物流株式会社 藤岡本社	愛知県

	花王ロジスティクス株式会社 稲沢営業所	愛知県
	共同輸送株式会社 中京物流センター	愛知県
	平野商運株式会社 本社営業所	愛知県
	マストアークス株式会社 本社営業所	愛知県
	有限会社宮崎運輸 本社営業所	愛知県
	株式会社エネックス 三重支店	三重県
	株式会社エネックス 四日市営業所	三重県
	中川運輸株式会社 本社	三重県
	中川運輸株式会社 四日市支店	三重県
	滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	滋賀県
	滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	滋賀県
	滋賀観光バス株式会社 守山営業所	滋賀県
	滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	滋賀県
	株式会社KMT 京都営業所	京都府
	滋賀観光バス株式会社 京都営業所	京都府
	直販配送株式会社 物流事業部 京都支店	京都府
	ユニオン株式会社 本社	京都府
	SBS三愛ロジスティクス 物流センター関西	大阪府
	花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	大阪府
	佐竹運送株式会社	大阪府
	滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	大阪府
	千里山バス株式会社 本社営業所	大阪府
	福岡トランス株式会社 大阪営業所	大阪府
	株式会社藤急エクスプレス 東大阪営業所	大阪府

	丸正運送株式会社 本社	大阪府
	石見サービス株式会社	兵庫県
	花王ロジスティクス株式会社 尼崎営業所	兵庫県
	株式会社エネックス 西日本支店水島営業所	岡山県
	陸照運輸株式会社 水島営業所	岡山県
	中国運輸株式会社	山口県
	花王ロジスティクス株式会社 坂出営業所	香川県
	SBSリコーロジスティクス九州支社 福岡支店 榎田営業所	福岡県
	株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	福岡県
	花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	福岡県
	株式会社サンエストラテック 北九州事業所	福岡県
	株式会社サンエストラテック 福岡事業所	福岡県
	福岡トランス株式会社 新門司営業所	福岡県
	松藤商事株式会社	福岡県
	SBS三愛ロジスティクス株式会社 九州支社九州中央支店	佐賀県
	株式会社サンエストラテック 大分事業所	大分県
	南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	鹿児島県

一般部門

	株式会社ビクトリー	埼玉県
	株式会社木村衛生 大正事業所	大阪府
	株式会社スカット 本社・大正リサイクル工場	大阪府

大臣賞受賞事業者の取組事例紹介



花王ロジスティクス株式会社 石狩 LC

所在地：北海道石狩市新港南2-718-6

業務内容：運輸業(トラック)

拠点数：1

従業員数：138名

車両台数：5台

活動実績：18年



周囲を巻き込むエコドライブ活動

2014年よりエコドライブ活動を開始。北海道内に拠点を構えるのは当支店のみで、配送エリアは北海道全域に及ぶ。

協力会社と連携した24時間配送体制を構築しており、エコドライブの効果を最大限に高めるためには、協力会社を含めた一体的な取組が重要であると考えている。そのため、自社内にとどまらず、**協力会社と連携した取組**を積極的に推進。安全・品質・エコ活動に関する情報を共有する場として、毎月「安全品質会議」を開催し、情報発信だけでなく、互いに学び合う機会として活用している。

さらに、共同配送にも注力し積載率向上を目指した取組も進めるなど、社内だけで完結させず、周囲を巻き込みながら業界全体にも影響を与えるレベルの高い取組を行っている。

エコドライブ活動の成果

2018年度比

15%燃費向上
(中型ディーゼル車)

無事故達成
(保険を適用した事故)





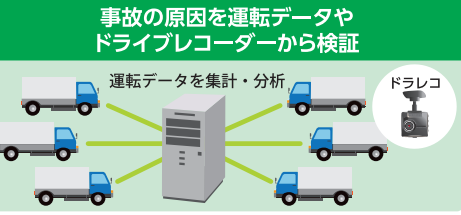


受賞事業者の声

この度は国土交通大臣賞という名誉ある賞をいただくことができ、誠にありがとうございます。

この受賞は弊社にとって大変光栄なことであり、エコドライブ活動を継続し、さらに進化し続けあきらめずに、活動を行ってきた成果だと思えます。

今後もこの活動内容を弊社にて水平展開し全拠点一丸となり取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	理念・方針	・花王グループの環境保全活動の目標としてエコドライブを掲げている	 定めた目標をグループミーティング、朝礼、社内掲示などで全従業員に周知
	組織・体制	・拠点長を推進責任者に据えたエコドライブ推進体制を構築	
	目標・計画	・環境班は2050年のカーボンニュートラル達成を目指し活動	
 教育の実施	周知・説明		 1か月に1度、会議にて環境問題やCN実現に向けた教育を実施
	点検・整備	・運行前に実施する日常点検に加え、月に一度タイヤの空気圧や溝、ナットの緩みがないかを確認	
	環境問題		
	教育計画	・年間のエコドライブ教育計画を策定。季節別にエコドライブのポイントを絞り教育資料を設定	
 燃費管理	教育資料	・環境省推奨の資料を活用して教育を実施	 燃費の分析結果を毎月ミーティングで周知
	教育記録	・教育記録やKYT実施記録など、分類別に保管	
	外部セミナー	・国立環境研究所のエコドライブ講習でネットで視聴	
	マイカー教育	・車通勤の従業員の燃費を管理	
	燃費目標	・昨年度実績をもとに目標値を設定	
 活動実績と評価	燃費管理	・毎月末に給油を行い燃費計算、月間の燃費と先月や前年同月との対比などで分析	 事故の原因を運転データやドライブレコーダーから検証
	燃費分析	・トンキロ法を用いて燃費を分析	
	教育活用		
 継続実績と方策	過去履歴	・活動開始から現在までの燃費データを管理	 従業員向けに、通勤車両にエコタイヤを推奨する資料を作成し、展開
	燃費向上	・2018年度比で、15%燃費向上(中型ディーゼル車)	
	事故管理		
	成果の周知	・ヒヤリハットからのKYT実施	
	対外活動	・協力会社とエコドライブに取り組む	
	社員評価	・年に1度、無事故無違反ドライバーを表彰	
	活動実績	・2014年より活動開始	
	活動見直し	・毎月、目標に対する進捗状況を確認。適宜目標の見直しを実施	
	独自工夫	・車両重量を減らすためタンクの半分のみ給油するハーフタンク給油活動など新しい取組を実施	
	認証登録	・Gマークを取得	
	エコカー等		

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施

評価 ポイント

毎日の振り返りを活かした運転改善の取組

ドライブレコーダーのデータを用いた管理者とドライバー双方による毎日の振り返り

ドライブレコーダーの走行データを用いて定期的にエコドライブ教育を実施している。

管理者は、ドライブレコーダーから出力される急アクセル、急減速などの走行データを毎日確認し、異常値や気づきをもとに終了点呼時にドライバーへフィードバックしている。とくに急加減速の防止やアイドリングストップの取組に注力しているため、この3点の数値確認が徹底されている。ドライバー自身もドライブレコーダーの走行データを毎日チェックしている。数値を自己運転分析記入表に記入し、目標値と現状数値を確認することで、翌日の運転改善へと繋げている。

自己運転分析記入表の活用

※数値は運転日報の取り記入

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
急加速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急減速	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイドリング	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
燃費	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	18.5	

※今月の走行結果についての情報
 必 須 2%以上急ブレーキを出してしまいました。削減ありませぬ。削減していただくには燃費削減が必要です。
 必 須 急減速とアイドリングに数値が出てしまっているため、削減する必要があります。

燃費目標・環境行動カード



活動成果

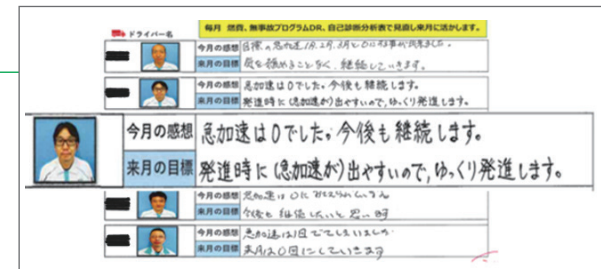
評価 ポイント

定期的な振り返りと目標設定により、PDCAサイクルを継続的に運用

月次の結果周知と次月に向けた意気込み・目標設定メール

毎月、燃費などの分析結果をミーティングやメールで共有することで、全ドライバーへ取組結果を周知させるよう徹底。燃費結果以外にも、急加減速やアイドリング時間などの運転行動データも共有することで、具体的な振り返りや改善のための行動計画を立てられるようにしている。

運転結果の共有後は、各ドライバーに結果に対する感想や次月に向けた改善の意気込み、行動目標を返信させることで、主体的な取組につなげている。



次月に向けた意気込み



継続実績と方策

評価
ポイント

朝礼と連動させたエコドライブの意識定着

日めくりカレンダーによるエコドライブ意識の定着促進

エコドライブの具体的な運転方法をはじめ、安全運転や環境配慮に関する重要ポイントをわかりやすくまとめた日めくりカレンダーを独自に作成。

朝礼などのタイミングで、その日のテーマをドライバーへ周知・呼びかけることで、知識の再確認およびエコドライブの意識付けを図っている。

さらに、1日1項目を日替わりで確認できる仕組みとすることで、ドライバーが無理なく継続的に学べる環境を整備している。



日めくりカレンダー



継続実績と方策

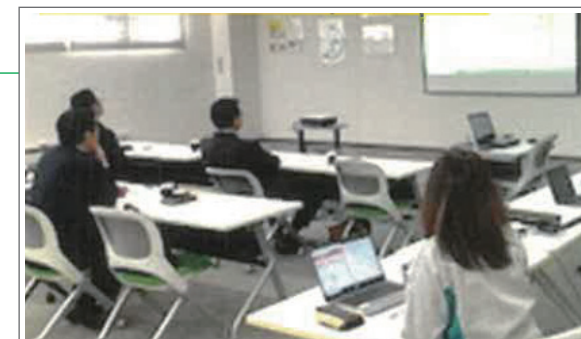
評価
ポイント

協力会社と連携した、情報共有と学び合いの仕組み

協力会社と連携したエコドライブ推進の取組

協力会社も含めた一体的な取組が重要であるとの考えのもと、協力会社3社と連携した共同でエコドライブに取り組んでいる。安全・品質・エコ活動に関するトラブル事例や取組内容などを共有する「安全品質会議」を開催し、効果的な事故防止策やエコドライブ教育の方針をルール化。自社を含めた4社それぞれで現場へ共有することで、事故防止とエコドライブ活動の両面の強化につなげている。

また、協力会社車両を対象とした走行管理も行っており、運転状況の把握と改善指導を通じてエコドライブの実践状況を可視化し、4社一体となって継続的なエコドライブ活動の定着を図っている。



安全品質会議



沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1

業務内容：その他

拠点数：33

従業員数：967名

車両台数：926台

活動実績：13年



参加型イベント「燃費王決定戦」の地域を超えた広がり

2012年よりエコドライブ活動を開始し、グループ統合に伴い2022年からはグループ全体の取組へ拡大。

沖縄県の「交通死亡事故ゼロ」と「カーボンニュートラルの実現」への貢献を目的に、エコドライブ活動を開始。その一環として、燃費を競う大会「燃費王決定戦」を2012年より継続的に開催している。本取組は現在、沖縄県内にとどまらず、福岡、長崎、熊本、鹿児島、大分へと広がり、高い評価を得ている。社内においても、社員一人ひとりのエコドライブ意識が高く、社用車・マイカーを含めた燃費管理に取り組んでいる。さらに継続して取り組めるようグループ内で目標燃費を達成した上位者へのインタビューを開始。エコドライブの工夫を共有し、社員の理解向上とスキル向上を図るとともに、社内外への普及につなげている。

エコドライブ活動の成果

2022年度比

86%燃費向上
(HV車2000cc以下)

事故件数13%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

このたびの受賞を大変光栄に思います。日ごろの取り組みを評価いただき、身に余る思いです。今後もエコドライブ活動の輪を沖縄県のみならず全国へ発信できるようにお客様とともにエコドライブ活動を続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	全体取組 ・エコドライブ活動を沖縄トヨタグループ全体の取り組みとして位置づけ、方針の一つとして全社員が実践する	体制・目標 ・グループ戦略本部にてエコドライブ活動を推進	社用車の定期的な点検整備は、基本管理者が管理。点検漏れがないようグループ戦略本部にて点検実施を確認
	点検・整備		
 教育の実施	環境問題	教育資料 ・毎月エコドライブのテーマに沿って教育資料を全社員が閲覧できる掲示板へ展開	エコドライブが燃費改善だけでなく環境保全や交通事故削減にもつながる重要な取組であることを、社内外の研修を通じて啓発
	教育実施 ・新人社員に向け、エコドライブ研修を実施		
 燃費管理	燃費管理 ・燃費管理サイトにて管理	燃費目標	燃費目標は全社目標に加え、車両条件を考慮し個人毎に設定
	燃費向上 ・2022年度比で、86%燃費向上(HV車2000cc以下)		
 活動実績と評価	事故管理	事故管理 ・2022年度より沖縄トヨタグループ全体の事故件数を管理	2022年度より沖縄トヨタグループ全体の事故件数を管理
	対外活動 ・エコドライブ活動と県内の子どもたちへの食の支援を目的に、企業と共同で「スマイルライスプロジェクト」を実施		
 継続実績と方策	活動実績 ・2012年より活動開始	エコカー等 ・社用車と試乗車としてHEV車、PHEV車、BEV車、FCEV車の導入	年度方針発表会にて燃費ランキング上位を表彰
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組



燃費管理

評価
ポイント

徹底した管理体制により、高い精度で燃費データを管理

燃費王サイトを活用した社用車・マイカーの徹底した燃費管理

独自の燃費管理サイト「燃費王サイト」を運用・管理し、社用車だけでなくマイカーについても燃費の管理を行っている。本サイトは社内にとどまらず社外にも展開しており、2024年までに累計8,000名以上が利用。スマートフォンやPCから、給油時に給油量と走行距離を入力することで、正確な燃費を把握・管理できる仕組みとなっている。また、LINEとの連携により、LINEから簡単に燃費を入力できる点も特長である。入力漏れがあった場合には、各拠点長を通じて声がけを行い、継続的なデータ管理とエコドライブ意識の定着を図っている。



燃費王サイト



活動成果

評価
ポイント

地域へのエコドライブ普及に貢献

県内企業を対象としたエコドライブ講習会の実施

エコドライブ活動の普及を目的として、県内企業へエコドライブ講習会を開催している。主な対象をトラックドライバーとし、座学によるエコドライブの基礎知識や環境負荷低減や事故削減にも寄与することに加え、すぐに活かせる実践的なエコドライブのコツまで、幅広い内容を指導している。こうした活動を通じて、地域全体におけるエコドライブ意識の向上と安全運転の推進に貢献している。



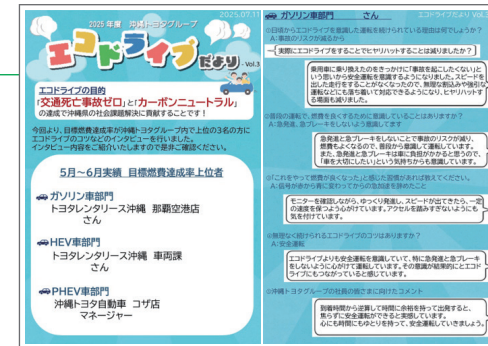
エコドライブ講習会

継続実績と方策

評価ポイント 優秀取組事例のグループ全体への水平展開

社内報を活用した優秀取組事例の社内展開

優れたエコドライブの取組をグループ全体へ広げるため、社内報を活用した情報発信を行っている。社内報「エコドライブだより」では、2か月ごとに各部門から目標燃費達成率の上位者を1名ずつ選出し、インタビュー記事として紹介している。記事では、エコドライブを継続するための工夫や、とくに燃費向上につながった運転習慣などを丁寧にヒアリングし、実践的な内容として掲載している。こうした成功事例を共有することで、他の社員にも具体的な行動のイメージを持ってもらい、グループ全体のエコドライブ意識の向上につなげている。



エコドライブだより

継続実績と方策

評価ポイント 他県への波及効果を生み、エコドライブの普及に貢献

エコドライブイベントの継続開催と開催地域の拡大

エコドライブの実践意欲を高める取り組みとして、燃費向上を競うイベント「燃費王決定戦」を継続的に開催している。楽しみながらエコドライブに取り組める仕組みとすることで、ドライバーの主体的な運転改善を促している。近年は活動の輪を広げ、九州エリアの販売店とも連携を開始し、2024年12月には「燃費王決定戦」九州・沖縄大会を開催するなど、取組エリアの拡大を進めている。また、本イベントの波及効果により、2024年5月には福岡トヨタにおいても同様の燃費王決定戦が開催されるなど、エコドライブ活動が業界内へ広がりを見せている。



九州大会表彰式

審査委員長特別賞受賞事業者のエコドライブ支援機器・サービス紹介



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 「テレマティクス自動車保険・サービス提供による エコドライブ支援」

所在地：東京都渋谷区恵比寿1-28-1

業務内容：損害保険事業・リスクソリューション事業



エコドライブ活動を支援する製品サービスの概要

テレマティクス自動車保険の機能・サービスを活用し、CO₂排出削減量や燃料節約量を可視化することで、エコドライブの成果を定量的に把握できるサービス。エコドライブの成果を可視化することで、利用者が自身の運転による環境貢献を実感し、継続的なエコドライブの実践につなげている。

また、保険サービスにとどまらず、地方自治体と連携したエコドライブコンテストも実施。テレマティクスタグとスマートフォンを用いて運転データを取得し、算出された運転スコアを競う仕組みとすることで、楽しみながらエコドライブに取り組める点が特長。これまで全国各地で開催しており、地域と連携した取り組みを通じてエコドライブの普及を積極的に進めている。

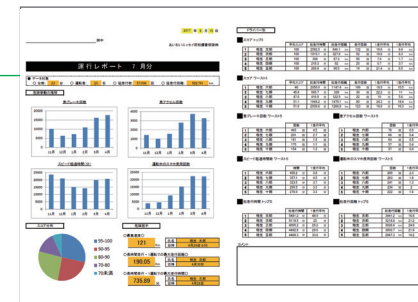
受賞事業者の声

この度は審査委員長特別賞という栄誉ある賞を頂き、大変光栄です。当社のテレマティクス自動車保険・サービスのCO₂排出量削減効果が、個人、事業者、地域のエコドライブ普及・推進に幅広く貢献していることに評価を頂きました。当社は自治体・警察・企業・代理店とともに地域課題解決に向けた「SAFE TOWN DRIVE」を全国で組成しています。今後もエコドライブの普及に向けて、安心・安全でエコにつながるテレマティクス自動車保険を広くご案内して参ります。

テレマティクス自動車保険サービスを活用したエコドライブサポート

テレマティクス技術を活用し、自社の自動車保険サービスと連動したエコドライブサポート商品を提供。

走行データをもとに、安全運転とエコドライブの両立を支援する仕組みとして、日々の運転行動の改善を促している。専用アプリでは毎月、運行レポートとしてCO₂排出削減量や燃料節約量を表示し、取り組みの成果を数値で確認できるようにしている。さらに、削減されたCO₂量をスギの木が1年間に吸収できる量に換算し、本数で表現するなど、成果を直感的に理解できる工夫を行っており、利用者が楽しみながら継続的にエコドライブに取り組める環境を提供している。



運行レポート



ドライバー・管理者への
フィードバック

エコドライブサポートサービス

2026年1月より当社の自動車保険契約者だけでなく、すべての事業者を対象に、テレマティクス技術を活用して走行データを収集し、「エコドライブの成果を可視化できるサービス」を提供。

エコドライブによって削減されたCO₂排出量や節減できた燃料消費量を、ドライバーと管理者の双方へ分かりやすく展開し、日々の運転成果を共有している。これにより、従業員一人ひとりがカーボンニュートラルへの貢献を実感でき、環境意識の醸成につなげている。さらに、運行レポートや安全運転診断機能も備えており、エコだけでなく安全面を重視する法人のニーズにも応えるサービスとなっている。

地方自治体と連携したエコドライブコンテスト

「デジタル×地方創生」をテーマに、地方自治体と連携してテレマティクス技術を活用したエコドライブコンテストを実施。本コンテストでは、参加者にテレマティクスタグを貸与し、スマートフォンと接続して運転することで運転挙動データを取得し、算出された運転スコアを競う仕組み。これまで京都、札幌、さいたま市など全国各地で開催しており、特に2024年に実施した京都府エコドライブコンテストは好評を博したことから、12月には第二弾を開催し600名超が参加。地域と連携した取り組みを通じて、個人レベルまで波及するエコドライブの普及を積極的に進めている。



京都府エコドライブコンテスト
チラシ



eMotion Fleet 株式会社「商用 EV 導入・運用ワンストップサービス」

所在地：東京都品川区東品川2-6-4
寺田倉庫G1ビル2階

業務内容：事業者向け商用フリート電動化ワンストップサービス、事業拠点の脱炭素化支援サービス、商用EVフリートマネジメント、アセットマネジメント



エコドライブ活動を支援する製品サービスの概要

モノ・ヒトを運ぶ事業者を対象に、商用EVの導入・運用をワンストップで支援するサービス。

事業者ごとの脱炭素化の進捗段階に応じて、計画策定から導入、運用までを一貫して伴走支援し、商用フリートの電動化を後押し。車種や動力源を問わず、車両運行とエネルギーを一元管理できるシステムの提供に加え、内燃車・EV双方から取得したデータを活用するクラウド型テレマティクスの導入を支援している。このようなソリューションを通じて、低炭素化から電動化、運用最適化までを段階的にサポートしている。

これにより、事業者は自社の状況に応じた最適なステップで、無理なく確実に商用フリートの脱炭素化を実現できる。

受賞事業者の声

審査委員長特別賞という栄誉ある賞をいただき、御礼申し上げます。中小事業者でも無理なく商用EVを導入・運用できる仕組みをご評価いただき、嬉しく感じています。今後も現場に寄り添い、脱炭素と経済性を両立するソリューションの普及に取り組んでまいります。

テレマティクス機器を活用した運転状況の分析

内燃車にも導入可能なテレマティクス機器の導入を進め、走行ルート効率化や燃費改善を通じた低炭素化をサポートしている。テレマティクスで取得できるデータをもとに、車両別・運転手別の運転状況を分析し、個々の運転特性に応じたフィードバックを行うことで、ドライバー自身が課題を実感しやすく、エコドライブの促進につなげている。さらに、燃費や燃料費の見える化に加え、アイドリングが発生する場所や背景についてもヒアリングを行い、実態に即した燃料削減プランを提案するなど、現状把握から改善策の実行までを一貫してサポートしている。



テレマティクス



ステージに応じたソリューションの提供

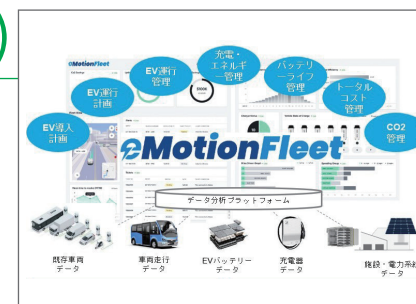
顧客の脱炭素化ステージに応じたソリューション提供

EV導入を検討する事業者向けに、コスト比較から運用プランの提案、組織体制の最適化、管理者・ドライバーを対象としたEV運用講習の実施まで、計画段階から導入・移行準備を一貫して支援している。コスト比較では、EV車両への切り替えによる燃料費削減に加え、カーボンクレジット活用によるメリットを示し、経済面と環境面の両面から導入効果を分かりやすく提示している。

また、燃料費の変化だけでなく、CO₂排出量削減のシミュレーションも行うことで、環境意識の高い事業者にとっても意思決定を後押しする情報を提供している。

車両・充電・エネルギーを一元管理するEV運行・エネルギー管理システム(FMS/EMS)

車種や動力源を問わず、車両の運行管理とエネルギー管理を一元的に行えるシステムを提供。車両の運行を管理するFMS(フリートマネジメントシステム)と、電力や充電設備を管理するEMS(エネルギーマネジメントシステム)を自動連動させることで、車両の稼働率向上や運行コストの削減を図るとともに、CO₂排出削減効果の最大化を実現している。



EV運行・エネルギー管理システム

上位受賞事業者の取組事例紹介



北海道フーズ輸送株式会社 旭川支店

所在地：北海道旭川市永山北2条7丁目7-5

業務内容：運輸業(トラック)

拠点数：1

従業員数：98名

車両台数：43台

活動実績：5年



運転行動と車両性能の両面から進めるエコドライブ

2020年よりエコドライブ活動を開始し、2021年にはグリーン経営認証を取得。

食品物流会社として、配送時には厳格な温度管理が求められる中で、とくに近年は異常気象の影響により、年間を通して配送環境が一層厳しくなっている。こうした厳しい運行条件の中でも、エコドライブの効果を最大限に引き出すことを目的に、**計画的な車両代替**を進めるとともに、低公害車の導入を積極的に行っている。

また、シビアな運行環境だからこそ、ドライバー一人ひとりの運転が燃費に直接影響するとの考えから、エコドライブ教育にも注力している。24時間稼働の業務体制の中でも無理なく教育・啓発を行えるよう、定期的なエコドライブ啓発メッセージの配信や、会議・教育のオンライン開催、常時視聴可能なモニターを活用した教育なども行っている。

エコドライブ活動の成果

2020年度比

6%燃費向上
(普通ディーゼル車)

無事故達成
(重大事故)

受賞事業者の声

この度は優秀賞を受賞させていただき誠にありがとうございました。活動実績は5年目ではありますが社員一人一人がエコドライブに真摯に向き合い努力した結果が形になったと強く感じております。今後も更なる進展を目指し社員一丸となり取組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	理念・方針 ・環境方針にエコドライブの実施を掲げている	 <p>代表取締役会長を環境保全管理責任者に定めた推進体制を構築</p> <p>環境保全活動推進体制</p>
	組織・体制	
 教育の実施	目標・計画 ・エコドライブの実施を含めた環境行動計画を策定	 <p>講習の参加記録を保管</p> <p>エコドライブ講習参加記録</p>
	周知・説明 ・全体目標や各車両ごとの目標燃費を社内に掲示	
	点検・整備 ・整備会社と連携し、全車両の点検を実施	
	環境問題教育計画 ・環境問題のポスターを社内に掲示 ・環境に関する教育を年間で計画 教育資料 ・エコモ財団の資料をもとに教育資料を作成 教育記録	
 燃費管理	外部セミナー ・ドライビングスクールのエコドライブ講習会に参加 マイカー教育 ・マイカー用のエコドライブ教育資料を配布	 <p>活動開始から現在までの燃費データを管理</p>
	燃費目標 ・各車両ごとに目標値を設定	
	燃費管理 ・各車格・車両ごとに設定された燃費目標と実績を社内に掲示し周知	
	燃費分析 ・毎月と毎年度末に燃費結果を分析し、結果を共有 教育活用 ・燃費の分析結果を運転講習等で活用 過去履歴	
 活動実績と評価	燃費向上 ・2020年度比で、6%燃費向上(普通ディーゼル車)	 <p>エコドライブに関するのぼりを支店玄関前や中に設置</p>
	事故管理 ・燃費(燃料費)・有責事故発生数を分析	
	成果の周知 ・昨年度の目標達成状況や今年度の目標を各ドライバーに説明、配布	
 継続実績と方策	対外活動 ・年に一度、燃費目標達成状況や努力が見られるドライバーを褒賞	 <p>グリーン経営認証を取得</p> <p>グリーン経営認証</p>
	社員評価	
	活動実績 ・2020年より活動開始	
	活動見直し ・各月の燃費実績に基づき、必要に応じて燃費目標を修正 独自工夫 ・社内報にエコ句を掲載し、エコドライブを啓発	
認証登録 ・全車両にテレマティクス機能付きのデジタコを導入		

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施

評価
ポイント

業務効率化とエコドライブ教育の均一化を同時に実現

エコドライブ教育のオンライン開催

別拠点との会議や安全運転・エコドライブに関する教育をオンラインで実施している。
移動時間を削減することで、業務への影響を最小限に抑えつつ、効率よく教育を行える環境を整えている。
また、オンライン形式で同一内容の教育を同時に実施することで、拠点ごとのばらつきを防ぎ、教育内容の標準化や全社的なレベル向上を図っている。



オンライン会議/教育風景



教育の実施

評価
ポイント

常時エコドライブを啓発できる仕組み

常時共有可能な方法でのエコドライブ教育

常時視聴可能なモニターを活用し、エコドライブに関する啓発活動/教育を行っている。モニターで再生される動画には、主にドライブレコーダーの映像を用いたヒヤリハット事例や警察署等からの安全情報に加え、エコドライブのポイントなど安全運転とエコドライブをテーマとした内容となっている。

動画は月に一度、新しい内容に更新しており、24時間稼働する業務体制の中で、いつでもだれでも確認できるよう常に再生している。



情報提供モニター

 **活動成果**

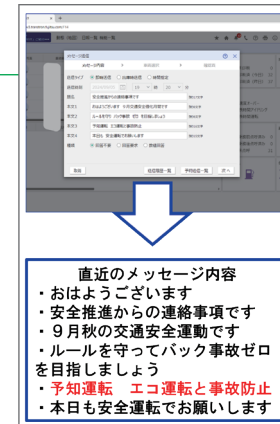
評価ポイント エコドライブの意識付けを行う定期的なメッセージ配信

エコドライブを啓発するメッセージの配信

テレマティクス機能のあるデジタルタコグラフを活用し、週1回を目安に安全運転およびエコドライブを呼びかけるメッセージを配信。

日常的なエコドライブの呼びかけにより、ドライバー一人ひとりが自身の運転を意識的に見直すきっかけとなっている。

また、月初には前月の燃費目標に対する達成状況を全体へ共有している。取組成果を見える化することで、ドライバーのモチベーション向上につなげている。



燃費目標の達成状況メール

 **継続実績と方策**

評価ポイント シビアコンディションの中で積極的に環境負荷低減に取り組む姿勢

厳しい運行条件下におけるエコドライブ推進と車両代替計画

商品の品質維持のため車両の冷房・加温装置を常時稼働させる必要があり、燃費の向上や環境負荷の低減を目指すうえでは、非常に厳しい運行条件である。こうしたシビアコンディションの中でも環境負荷低減に取り組むため、年式の古い車両と排出ガス規制に適合した低公害車両を入れ替える「車両代替計画」を積極的に推進している。最新の車両は環境性能や燃費性能が高く、冷房・加温などの付帯設備を使用している際もエネルギー効率が良いため、CO₂排出量の削減につながるだけでなく、エコドライブの効果を最大限に引き出すことが可能。

令和5年度末		令和7年1/4期末	
規制区分	車両台数	規制区分	車両台数
28・30年規制	17	28・30年規制	20
21・22年規制	21	21・22年規制	20
17年規制	3	17年規制	1
15年規制	1	15年規制	0
計	42	計	41

車両管理台帳 代替計画表



SB フレームワークス株式会社

所在地：東京都江東区青海3-4-19
青海流通センター2号棟

業務内容：運輸業(トラック)

拠点数：3

従業員数：186名

車両台数：34台

活動実績：9年



実証と発信を通じて業界の脱炭素化に貢献するエコドライブ活動

ソフトバンクグループの輸送部門として、2016年よりエコドライブ活動を開始。

乗務員が主体的にエコドライブ活動を推進し、活動しやすい体制を管理者が整備している。乗務員と個別に面談を実施して目標設定すると共に、結果に対してのフィードバックや社内表彰制度を設けており、主体性を持った取組みを後押しし、モチベーション向上に繋げている。外部認証・認定にも積極的に挑戦しており、表彰結果などを社内外に周知することで活動成果に対する誇りや達成感を醸成している。

業界の脱炭素化に貢献することを目指し、**EVトラックの試験的導入**などに取り組んでいる。EV車両については、実運送データがまだ十分に蓄積されていないことから、当社におけるEV車両の導入結果や運用面での知見を社外に発信していくことで、社会全体の脱炭素化に寄与する取組を推進している。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

14%燃費向上
(普通ディーゼル車)

無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

優秀賞をいただき光栄に思います。当社エコドライブ活動は社員が互いに教え合い、切磋琢磨することで成り立っています。

技術向上のみならず、EV・水素といった次世代型動力車の導入も積極的に検討し、継続してエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> ・目標設定・教育・広報などの体制を整備 ・年間のエコドライブ活動計画を設定 ・当社ポータルサイトや社内に掲示 ・車両管理規定に基づき管理台帳・整備計画を策定、実施 	エコドライブ活動を自社HP、ポータルサイトで社内周知 	
	教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題のエコドライブに関するオリジナル資料を作成 ・教育記録として、エコドライブ教育理解度テストを実施。記録は3年間保管 ・実車および座学講習を入社直後と3年毎に定期受講 ・社内独自のEラーニングでマイカーのエコドライブ教育を実施 	毎月教育実施日を設定し、計画通り実施されているか管理者が確認 
	燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	<ul style="list-style-type: none"> ・個人で半期の燃費目標を設定し、燃費管理シートやデジタコを用いて給油毎の燃費を管理 ・車種別の平均値や、車両別の燃費実績を分析。グラフで表すなど、燃費実績の推移を可視化 ・燃費管理データを分析・メールで送付し、ドライバー教育に活用 ・活動開始から現在までの燃費データを管理 	デジタコ搭載車はデジタコ入力、非搭載車は手書き日報で管理 
 活動実績と評価	燃費向上 事故管理 成果の周知 対外活動 社員評価	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年度比で、14%燃費向上(普通ディーゼル車) ・2016年から追突事故0件を継続 ・ドライバーのモチベーションを高めるため、対外活動や社内外への周知を行う ・エコドライブに関する取組を当社HPで掲載 	半期ごとに振り返りを行い、エコドライブ結果に応じて賞与に反映 	
	継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録 エコカー等	<ul style="list-style-type: none"> ・2016年より活動開始 ・多くの外部認証機関に登録。ドライバーのモチベーション向上のため、表彰結果を積極的に社内共有 ・東京都貨物評価制度、GEP参加、Gマーク認証取得 ・EV車両を試験導入 	定期的に取り組内容や取組方法の見直しを実施 

エコドライブ活動 主な応用取組



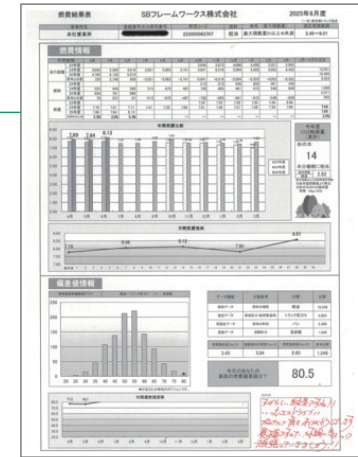
教育の実施

評価 ポイント

燃費の可視化と原因ヒアリングによる効果的な教育

燃費可視化と個別指導によるエコドライブ教育の強化

担当車両ごとの燃費推移が可視化されるグリーンエコプロジェクトの仕組みを活用し、個別のエコドライブ教育を実施している。毎月車両別に出力される燃費結果表は、管理者が確認の上コメントを記入し、日々の運転結果を客観的に把握できるように各ドライバーに配布している。また、管理者は毎月の車両別燃費推移を確認し、燃費の向上・悪化状況を定期的に確認。燃費が悪化したドライバーには、1on1の面談を通じて運転状況や業務内容を丁寧にヒアリングしている。その上で、走行ルートや積載状況、運転操作など個々の状況に応じた指導を行うことで、より実効性の高いエコドライブ教育を実現している。



燃費結果表



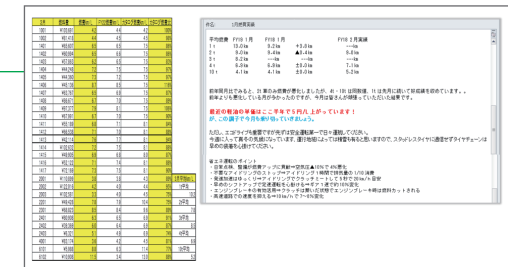
燃費管理

評価 ポイント

日常的にエコドライブを意識できるよう、教育と情報共有を継続的に実施

燃費の分析結果とエコドライブのポイントをメールで配信

毎月の燃費実績および分析結果を、各ドライバー宛にメールで共有している。配信内容には、当月の燃費データに加え、エコドライブにおける季節ごとの注意点や実践ポイントを盛り込み、理解を深める工夫を行っている。数値結果については単なる実績の提示にとどまらず、前年同月比での改善・悪化を明記することで、自身の運転の変化を把握しやすくしている。こうしたデータと背景情報を組み合わせることで、年間を通じて正しいエコドライブを実践できる環境を整え、日常的にエコドライブを意識する習慣づくりを促進している。



燃費分析結果メール



継続実績と方策

評価
ポイント

エコドライブ結果が評価に直結する仕組み

ドライバーのモチベーションを維持する表彰制度

年間を通じて、安全運転およびエコドライブを最も継続的に実践したドライバーを表彰する制度を設けている。運転データや日々の取組状況をもとに評価を行い、優秀な成績を収めたドライバーには、トロフィーと金一封を授与し、その努力と成果を正式に称えている。

こうした表彰制度により、ドライバー一人ひとりが安全運転やエコドライブを意識するきっかけとなり、日常業務の中での運転行動の改善や、より高い意識を持った取組の継続につながっている。



ドライバー表彰



継続実績と方策

評価
ポイント

業界全体のEV導入促進に貢献

EV車両の試験導入と導入結果の公開

運送事業における実用性や自社の運行形態との適合性を検証するため、EV車両を試験的に導入している。

航続距離や充電時間、積載時の運行効率などを実際の配送業務の中で検証し、運用上の課題や有効性を確認している。EV車両に関する実運送データがまだ十分に蓄積されていない現状を踏まえ、得られた検証結果については、カンファレンスでの発表や専門誌からの取材などを通じて積極的に外部へ発信している。こうした情報公開により、EV導入に関する知見を業界内で共有し、運送業界全体の脱炭素化に貢献している。



カンファレンス発表



株式会社タカキ物流サービス 秦野営業所

所在地：神奈川県秦野市曾屋

業務内容：運輸業(トラック)

拠点数：1

従業員数：87名

車両台数：60台

活動実績：4年



日常行動に落とし込むエコドライブの取組

2021年よりエコドライブ活動を開始し、2024年にグリーン経営認証を取得。

持続可能な物流の実現を目指し、AIを活用した配送コースの最適化に取り組んでいる。その結果、配送効率の向上により1コースの削減を達成。こうした最新技術を活用した取組に加え、日常業務の中で実践できる取組も重視している。従業員一人ひとりが常に目標を意識できるよう、燃費目標や環境行動計画を記載した「**燃費目標・環境行動カード**」を作成し、常時携帯。これにより、エコドライブの実践だけでなく、環境に配慮した行動を日常的に意識する風土づくりにつなげている。

エコドライブ活動の成果

2021年度比

8%燃費向上
(普通ディーゼル車)

無事故継続
(重大事故)

受賞事業者の声

環境負担軽減と安全運行を両立させる取り組みを徹底してきた成果が、このように評価されたことを大変うれしく思います。ドライバー一人ひとりの地道な努力と、地域・行政の皆様のご支援があってこそこの受賞です。

今後も持続可能な物流の実現に向け、さらなる改善と情報発信を続けてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	理念・方針 ・環境基本方針の基本理念としてエコドライブの実施を掲げている	エコドライブ活動の現状と課題を整理し、改善策と計画を策定 
	組織・体制 ・環境保全推進体制の整備、環境保全責任者の明確化	
 教育の実施	目標・計画 ・年始の安全教育の際に目標・計画を説明。掲示板にも掲示し、いつでも閲覧できるよう工夫 ・プリジストントータルパッケージプラン契約により、タイヤ点検とタイヤ交換時期の適正管理	グリーン経営講習会后、講習動画や資料を保管し、いつでも再教育できる環境を整備 
	周知・説明 ・月1回の安全教育で環境関連法や環境問題について教育を実施 ・年間のエコドライブ教育計画を策定	
 燃費管理	環境問題教育計画 ・月1回の安全教育で環境関連法や環境問題について教育を実施 ・年間のエコドライブ教育計画を策定	毎月、車両ごとに燃費結果をグラフ化し、社内に掲示 
	教育資料 ・講習会の参加記録を保管 ・社外のエコドライブ講習会に参加 ・マイカー通勤者へ、エコドライブの資料などを配布	
 活動実績と評価	燃費目標 ・前年度の各車両ごとの燃費実績をもとに、今年度の目標値を設定	協会の社会議にて、当社のエコドライブの取組について紹介 
	燃費管理 ・デジタコデータ、給油量をもとに車両ごとの燃費を管理	
 継続実績と方策	燃費分析 ・2か月に1回、燃費向上ミーティングを開催。車両ごとの燃費の悪化・向上要因や改善策について議論 ・活動開始から現在までの燃費データを管理	グリーン経営認証を取得 
	教育活用 ・2021年度比で、8%燃費向上(普通ディーゼル車) ・事故件数および車両修繕費を管理 ・燃費実績および事故詳細、修繕費を社内に掲示	
	事故管理 ・無事故・無違反でエコドライブに取り組んだドライバーを優秀社員として表彰	
	成果の周知 ・2021年より活動開始 ・3か月に1度、計画改善ミーティングを設定 ・優秀社員賞やエコドライブマイスター制度などを実施	
	対外活動 ・HV車両を導入	
	社員評価 ・HV車両を導入	
	活動実績 ・HV車両を導入	
	活動見直し ・HV車両を導入	
	独自工夫 ・HV車両を導入	
	認証登録 ・HV車両を導入	
	エコカー等 ・HV車両を導入	

エコドライブ活動 主な応用取組



取組体制の整備

評価
ポイント

エコドライブ意識の定着を促す仕組み

燃費目標・環境行動カードの常時携帯

エコドライブおよび環境保全活動の一環として、全従業員が年度ごとの燃費目標と環境行動計画を記載した「燃費目標・環境行動カード」を作成し、常時携帯している。カードは常に持ち歩いている社員証のネックストラップに挿入できる形式としており、業務中や移動時など、いつでも目にすることができるよう工夫している。

日常的に目標を確認できる環境を整えることで、一人ひとりが自身の行動を意識しやすくなり、エコドライブの実践や環境配慮行動を習慣として定着させることにつなげている。



燃費目標・環境行動カード



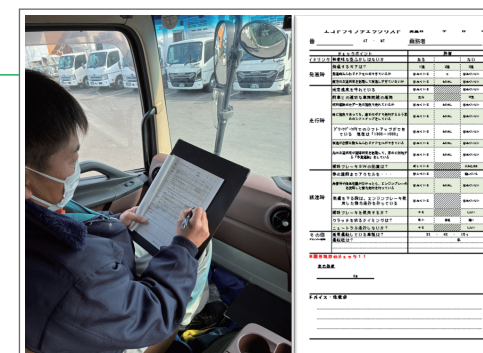
教育の実施

評価
ポイント

実践的なエコドライブ教育

エコドライブ同乗教育の実施

全ドライバーを対象に、エコドライブ同乗教育を定期的に行っている。指導はエコマイスター資格を取得した指導員が担当し、実際に車両へ同乗することで、アクセル操作や減速のタイミング、走行状況に応じた運転方法などを細かく確認している。ドライバーの運転行動を観察・分析し、的確なアドバイスを行うことで、実践的な改善につなげている。また、全受講者が同一条件下で走行し、指導員による模範的なエコドライブ走行データと比較することで、自身の課題や改善点を数値で分かりやすく示している。



燃費分析結果メール



教育の実施

評価
ポイント

知識を実践で活用しやすくする工夫

エコドライブ手引きの配布

全ドライバーを対象に「エコドライブの手引」を作成・配布している。運送業務における日常的な運転行動を振り返り無意識の運転を見直すことで、意識してエコドライブ行動へ移せるよう、実践的な内容を盛り込んでいる。本手引きは、公的機関や業界団体、車両メーカーが公開している信頼性の高い資料をもとに構成しており、誰でも分かりやすく実践できる点を特長としている。日々の業務の中で本手引きを活用し、実践と振り返りを繰り返すことで、エコドライブの定着と継続的な改善につながっている。



エコドライブ手引き



継続実績と方策

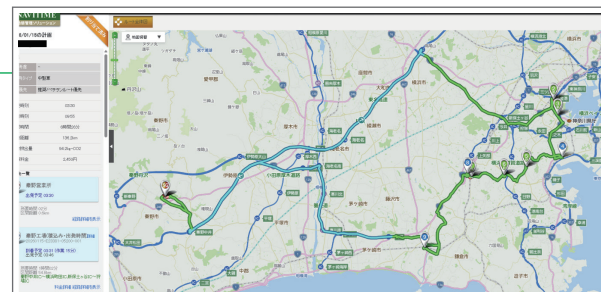
評価
ポイント

技術活用によるエコドライブ効果の最大化

AIによる配送コースの自動最適化

2023年より導入している動態管理システムにおいて、AIによる配送コース最適化機能の活用を開始。本機能を用いた自動立案による配送コース設定により、効率的に運行計画を作成している。

その結果、走行距離の短縮やアイドリング時間の削減、納品効率の向上が図られ、1か月あたりの燃料消費量932.26ℓ、CO₂排出量2,450.5kgの削減を達成するなど、環境負荷低減と業務効率化の両立につながっている。



配送コース最適化機能



株式会社エネックス 大井川営業所

所在地：静岡県焼津市利右衛門2719-19

業務内容：運輸業(トラック)

拠点数：1

従業員数：20名

車両台数：16台

活動実績：14年



一人ひとりと向き合い定着させるエコドライブ活動

2011年よりエコドライブ活動を開始し、2007年にグリーン経営認証を取得。

危険物を輸送するタンクローリー事業者として、エコドライブを環境対策にとどまらず、安全運転につながる重要な取組と位置づけており「エコドライブ=安全運転」という意識が社員全員に浸透するよう活動を進めてきた。

事業所の規模を生かし、**ドライバー一人ひとりと向き合う取組**を重視。定期的な個人面談を通じて、エコドライブの実績データをもとに運転傾向や燃費の改善・悪化要因を確認し、具体的なフィードバックを行っている。これらの情報は全社で一元管理し、支店ごとの課題や改善点を明確化することで、各支店での教育や指導に活用している。

エコドライブ活動の成果

2007年度比

**3%燃費向上
(大型ディーゼル車)**

2012年度比

**無事故達成
(重大事故)**

受賞事業者の声

この度は荣誉ある賞をいただき誠にありがとうございます。

「エコドライブ = 安全運転」の意識を継続し、今後もエコドライブ活動を推進してまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	理念・方針 組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	<ul style="list-style-type: none"> 各責任者の役割を明確にし、推進体制は年度ごとに見直し改定 全社で安全活動計画としてエコドライブの年間活動計画を策定 目標および計画を社内に掲示し展開 年間の点検計画表を作成し、法令点検の実施状況を管理 	環境方針の重点推進項目にエコドライブによる燃費向上を設定 	
	 教育の実施	環境問題 教育計画 教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	<ul style="list-style-type: none"> 環境問題のポスターを社内に掲示 安全・エコにかかわる年間教育計画を策定 東京都の環境対策について資料を用いて教育を実施 ドライバーが運転を自分の言葉で振り返るワークシートを活用 管理者が東京都トラック協会主催「グリーンエコプロジェクト」に参加 	全従業員に対し、eラーニングでマイカーに関する教育を実施 
	 燃費管理	燃費目標 燃費管理 燃費分析 教育活用 過去履歴	<ul style="list-style-type: none"> 車格別に目標燃費を設定(対前年比2.3%向上) ドライバーが走行管理表に給油毎の燃費を記録 全社で車両ごとに1か月間の走行距離、燃料使用量、燃費を管理・分析 	車両単位の燃費結果表を用いてドライバー教育を実施 
 活動実績と評価	燃費向上 事故管理 成果の周知	<ul style="list-style-type: none"> 2007年度比で、3%燃費向上(大型ディーゼル車) 自動車事故報告に規定する事故統計の管理 	毎月の安全会議内で燃費実績、事故件数について共有 	
	 継続実績と方策	対外活動 社員評価 活動実績 活動見直し 独自工夫 認証登録 エコカー等	<ul style="list-style-type: none"> 自社を含むグループ会社全体のCSR活動実績を公開 燃費向上率達成者などを表彰 2011年より活動開始 年間の活動実績、成果を振り返り、次年度の目標設定に生かしている 東京都貨物輸送評価制度に継続的に参画 排気ガス抑制機能、エコ運転サポート機能などを搭載した新車トラクタを導入 	グリーン経営認証永年表彰 

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施

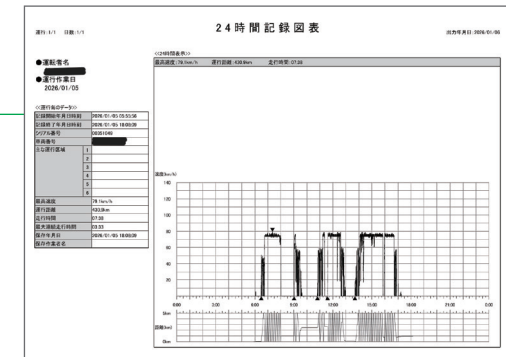
評価 ポイント

運転行動を可視化することで客観的な振り返りを行う

毎日の運転挙動を可視化し、教育に活用

デジタコデータをもとに作成される「24時間記録図表」を活用し、速度、急発進・急加速、エンジン回転数、運転時間など、一日の運転挙動を視覚的に把握している。記録図表により、運転状況を一目で確認できるだけでなく、管理者が詳細データを分析することで、エコドライブの実施状況や改善が必要な運転傾向を把握している。

把握した内容は、個別の指導やアドバイスに活用し、無理のない改善を促すことで、日常業務におけるエコドライブの定着と安全運転意識の向上につなげている。



24時間記録図表



教育の実施

評価 ポイント

一人ひとりの傾向や状況を考慮した改善アドバイス

個別面談によるエコドライブ結果のフォローアップ

事業所の規模を活かし、ドライバー一人ひとりと定期的に個別面談を行っている。面談では、エコドライブの実績データをもとに、各ドライバーの運転傾向や業務内容を確認しながら、良い点と改善が必要な点を具体的にフィードバックしている。

さらにアクセル操作など、個々の運転行動に対して実践的な改善アドバイスも行っている。こうした丁寧な個別指導により、ドライバー自身の理解を深め、エコドライブの定着と継続的な改善につなげている。

個人面談記録			
乗務員	[Redacted]		
日時	2025年7月23日 10時25分～11時00分	車庫名	大井川営業所
場所	大井川営業所 2階会議室	面接者	[Redacted]
I. 会社からの通知・確認事項			
(1) 安全方針・目標の徹底			
① 本社発信文書「2025年度 安全方針」			
② 本社発信文書「2025年度 環境保全取組方針」			
③ 営業所安全目標「2025年度 大井川営業所年間安全目標」			
(2) 前年度事故・トラブルについての振り返り(個人)			
① 事故・トラブルはあったか			
② 事故・トラブル内容			
③ どのような問題があったのか			
④ 自分自身が事故を起こさない為に取り組んでいる事(運転・作業)			
(3) 事故再発防止対策等の確認			

個人面談記録

活動成果

評価ポイント 燃費結果の数値だけでなく、背景要因を丁寧に分析

全社的な燃費の一元管理と要因分析

全社で各支店の月ごとの燃費データや改善率を集計し、一元的に管理している。集計結果をもとに、燃費が変動した要因について各支店へ聞き取りを行い、運転状況や業務条件、指導内容などの背景を確認している。こうして得られた情報を整理・分析することで、支店ごとの課題や効果的な改善ポイントを明確化し、次の指導や施策へ反映している。全社的なデータ管理と支店との連携を通じて、エコドライブ活動の継続的な見直しとレベル向上につなげている。

支店名	燃費	改善率	燃費変動理由
支店A	100.00	100%	標準的な燃費
支店B	105.00	95%	渋滞による燃費増加
支店C	95.00	105%	エコドライブ指導による燃費削減

燃費変動理由の管理

継続実績と方策

評価ポイント 現場で実践しやすい独自ルール

安全運転とエコドライブを両立する『4秒・5m・2秒ルール』

安全運転とエコドライブの両立を図る取組として、独自の「4秒・5m・2秒ルール」を全社で展開している。走行時は前車との車間距離を4秒確保し、渋滞などで停車する際は5mの間隔を保つとともに、発進時は前車の動きから2秒遅れて走り出すことを基本としている。このルールにより、急加速や急減速を抑制し、安定した走行を促している。結果として、安全性の向上だけでなく、燃料消費の抑制やCO₂排出量の低減にもつながっている。

追突事故ゼロ

『4秒・5m・2秒』ルールの実施

- 4秒** = 走行時は前車との車間距離を4秒以上保つこと
- 5m** = 渋滞・停車時は前車と5m以上の車間距離を保つこと
- 2秒** = 渋滞・停車時は前車に2秒以上遅れて発進すること

4秒・5m・2秒ルール



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1WBG
マリブウエスト

業務内容：金融・保険業

拠点数：34

従業員数：721名

車両台数：163台

活動実績：10年



社内実践を起点としエコドライブの普及を目指す取組

2015年よりエコドライブ活動を開始。

日産自動車の金融サービスを担う子会社として、交通安全の普及と社員自らが模範となる運転を行うことを重視している。その一環として、社内方針としてきた「模範となる運転行動目標」は、本コンクールへの参加を通じ「エコドライブ+法令順守」として明確に位置づけ、社員一人ひとりが具体的な行動として意識できるようになった。

また、社内でのエコドライブ活動を通じて蓄積したノウハウを基に、自社顧客を対象とした講習会や説明会で**EVの活用やエコドライブの重要性を伝えるなどの普及活動**も行っている。このような取組を積極的に推進することで、業界全体の環境意識向上と脱炭素社会の実現に貢献している。

エコドライブ活動の成果

2015年度比

12%燃費向上
(ガソリン車2000cc以下)

事故件数79%削減
(軽微な事故)

受賞事業者の声

この度は優秀賞を賜り、心より光栄に存じます。

日頃から全従業員が安全運転を徹底し、燃費向上と交通事故低減に一丸となって取り組んできた成果が認められ、大変嬉しく思います。今後も模範となる事業者を目指し、取り組みを一層加速させてまいります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	全体取組		行動規範にて環境保全・保護、交通安全を明記
	体制・目標	・社用車のエコドライブ/事故削減を目的とする推進体制を構築	
	点検・整備	・チェックシートを活用した日常点検を実施	
 教育の実施	環境問題	・行動規範の環境保全・保護項目をイントラネットに掲載	新入社員や管理者向けにエコドライブ教育を重点的に実施 
	教育資料	・教育資料は、「エコドライブ10のすすめ」や「誰でもできるエコ運転」などを参考	
	教育実施		
 燃費管理	燃費管理		各拠点にて、社用車運行日報を用いて走行距離・給油量等を記録 
	燃費目標	・燃費と事故の目標を毎年方針として発表(今年度はFY15年度比10%改善)	
	燃費向上	・2015年度比で、12%燃費向上(ガソリン車2000cc以下)	カーリース契約の顧客向けに「エコ&セーフティドライブコンテスト」を実施 
事故管理	・事故件数の推移を管理し、テレマティクス機器の運転点数などとの相関を分析		
対外活動			
 活動実績と評価	活動実績	・2015年より活動開始	エコカーやEV車を導入 
	エコカー等		
	独自工夫	・サンクスカードを活用	

エコドライブ活動 主な応用取組



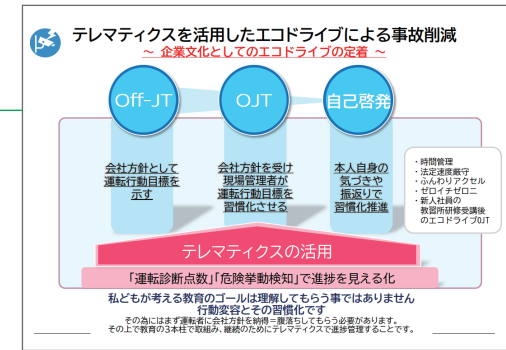
取組体制の整備

評価
ポイント

データ活用・実践指導・自己学習の組み合わせで、教育効果の最大化を図る

データ分析・OJT・Off-JTを組み合わせた教育体制

運転挙動や燃費データを分析し、ドライバー一人ひとりの運転傾向や改善点を可視化している。この分析結果をもとに、実際の運転を通じて指導を行うOJTと、理論や基礎知識を体系的に学ぶOff-JTを組み合わせた教育を実施。実践と座学を連動させることで、理解と行動の両面からエコドライブの定着を図っている。また、自己啓発を促す仕組みを整備し、ドライバーが自ら課題を認識し、改善に取り組み続けられる環境を整えることで、継続的な運転行動の改善とエコドライブ意識の向上につなげている。



教育体制



教育の実施

評価
ポイント

教育対象を絞り、重要な層へ手厚く指導

講習対象の見直しによる持続可能なエコドライブの教育体制

社内にエコドライブが定着してきたことを踏まえ、講習会の対象者を新入社員と新任管理者に絞っている。

新入社員に対しては、入社後の早い段階から正しいエコドライブ意識を身に付けてもらうことを目的に、基礎教育を実施。新任管理者については、現場での指導者としてエコドライブを率先して推進する役割を担ってもらうため、指導力向上を意識した教育を行っている。

講習対象者を見直すことで、効率的かつ無理のない形で継続できる、持続可能な教育運営へと移行している。



新入社員向け教習所講習



継続実績と方策

評価
ポイント

顧客向け講習会の継続的な開催

社内ノウハウを活かした顧客向けのエコドライブ普及活動

社内でのエコドライブ活動を通じて蓄積したノウハウをもとに、自社顧客に対してEVの活用やエコドライブの重要性を伝える普及活動を行っている。

とくに講習会や説明会などを積極的に開催しており、これまで約200社、延べ18,000人が参加している。こうした活動を通じて、業界全体におけるエコドライブ意識の向上と脱炭素社会の実現に貢献している。



顧客向け講習会



活動成果

評価
ポイント

高い評価を得た実証研究の発表

テレマティクスデータに基づくエコドライブ・安全運転の実証研究

テレマティクスデータを活用した自社のエコドライブおよび安全運転に関する取組について、日本交通心理士大会において研究論文を発表した。実際の運転データをもとに効果検証を行い、科学的根拠に基づいた分析結果を公表している。発表した論文は大手自動車教習所にも取り上げられるなど高い評価を得ており、エコドライブの普及や安全運転教育の質の向上に貢献している。



発表論文



久屋産業株式会社

所在地：福岡県北九州市若松区
南二島4丁目5番7号

業務内容：産業廃棄物中間処理業、船舶解体業

拠点数：2

従業員数：48名

車両台数：24台

活動実績：11年



データ活用と個別対応によるエコドライブの実践

2014年よりエコドライブ活動を開始。

産業廃棄物の焼却処理や船舶の解体、金属資材のリサイクルなど、環境に深く関わる事業を展開しており、事業活動を通じた環境負荷の低減に積極的に取り組んでいる。その中でもエコドライブは、環境対策に加え、事故削減や安全運転の向上にもつながる重要な取り組みと位置づけている。燃費データをもとに、**ドライバー一人ひとりの運転状況や業務内容に寄り添ったフィードバック**を実施。燃費が伸び悩む場合は、担当者がドライバーとともに状況を確認し、個々の特性に応じて改善方法を示すことで、無理のない燃費向上とエコドライブの定着につなげている。

エコドライブ活動の成果

2013年度比

2%燃費向上
(普通ディーゼル車)

無事故継続
(すべての事故)

受賞事業者の声

この度は「優秀賞」を受賞させていただきありがとうございます。
引き続き、安全運転・エコドライブを実践し、環境保全に取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

 取組体制の整備	全体取組 ・エコドライブを事業所全体の取り組みとしている	エコドライブ推進委員を設置 
	体制・目標	
 教育の実施	点検・整備 ・車両担当者や使用者が点検を担当	使用した燃料の環境負荷を数値化し、社内で回覧・掲示 
	環境問題 ・社内報を活用し環境問題について啓発	
 燃費管理	教育資料 ・北九州市主催の「エコドラ北九州プロジェクト」セミナーに参加	車両担当者や使用者が給油毎に走行メーターと給油量を記入 
	燃費管理 ・車両カタログや平均値から目標を設定し、グラフ化して管理	
 活動実績と評価	燃費目標	HP上でもエコドライブの推奨を明記 
	燃費向上 ・2013年度比で、2%燃費向上(普通ディーゼル車)	
 継続実績と方策	事故管理 ・2013年度より無事故継続	積極的に社内報を発行し、成果を社内に発信 
	対外活動	
	活動実績 ・2014年より活動開始	
	エコカー等 ・HV車両を導入	
	独自工夫	

エコドライブ活動 主な応用取組



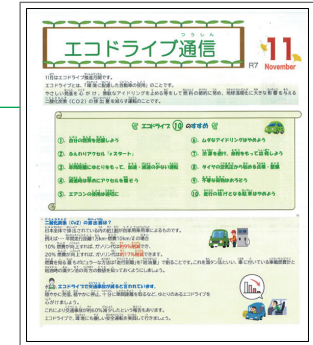
教育の実施

評価 ポイント

定期的な情報や成果共有による社内のモチベーション維持

社内報を活用した積極的なエコドライブ成果の発信

エコドライブの定着に向け、半年に1回「eco新聞」、毎月1回「エコドライブ通信」という社内報を発行している。「eco新聞」では、重油・軽油・電気の使用量を環境負荷として数値やグラフで分かりやすく示し、会社全体でエコドライブの成果や課題を把握できるようにしている。また「エコドライブ通信」では、給油データの見える化やエコドライブに関する豆知識を掲載し、日々の運転行動の改善につながる情報を発信している。定期的な情報発信を通じて、社員一人ひとりの環境意識を高め、エコドライブの継続的な実践につなげている。



エコドライブ通信



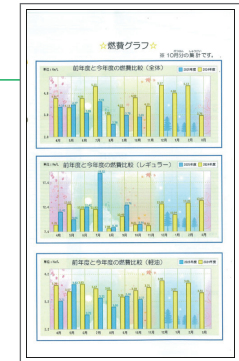
燃費管理

評価 ポイント

主体的に取り組みやすい環境の整備

納得度の高い燃費目標設定

カタログ燃費や、過去の燃費実績の平均値をもとに、車両ごとの燃費目標を設定している。実態に即した無理のない目標とすることで、ドライバーの納得感を高め、前向きに取り組める環境を整えている。設定した目標に対する燃費結果はグラフ化し、ドライバーを含めた社員全員へ共有することで、達成状況を分かりやすく見える化している。日々の運転を振り返りやすくなり、ドライバー自身が主体的にエコドライブへ取り組む意識の向上につなげている。



燃費グラフ

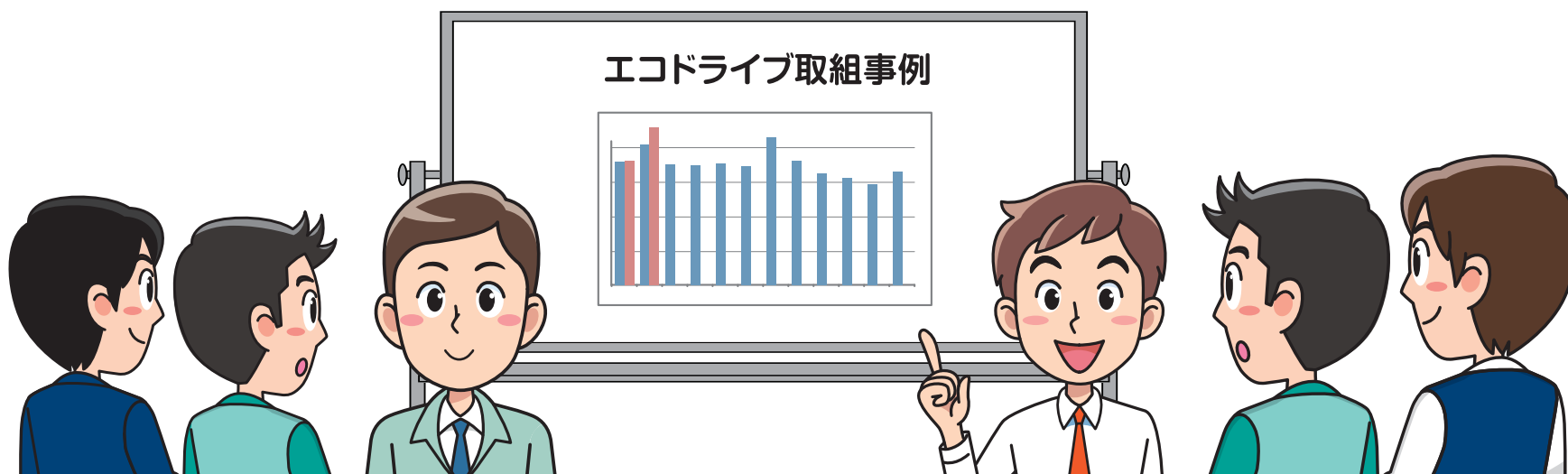
エコドライブ活動の応用取組「教育の実施」のイメージ

①エコドライブ教育の広がりとなつた展開

エコドライブ活動は、自社内での取組にとどまらず、事業に関わる協力会社などの関係者全体で取り組むことで、運行全体の事故リスク低減につながります。

こうした考えのもと、複数の協力会社と連携する事業者の中には、事業全体におけるエコドライブの取組効果を高めることを目的として、協力会社に対し自社で培った教育手法や成功事例をもとに、定期的にエコドライブ教育や取組内容の共有を行うなど、これまで主に社内を対象としてきた教育を社外へと広げる取組が見られました。

このように、事業者が中心となって関係者全体に取組内容やノウハウを展開することで、自社・協力会社を通じた運行全体の安全水準が底上げされ、利用者や荷主の信頼性向上につながります。



②マイカー通勤を含めたエコドライブ教育の広がり工夫

エコドライブ活動では、社用車を対象とした取組にとどまらず、通勤時のマイカー利用を含めた運転行動全体に目を向けることも重要です。とくに通勤中の交通事故は労働災害となるため、マイカー通勤時の安全運転や運転行動の改善は重要な観点とされています。

マイカーを対象としたエコドライブ教育を行う事業者の中には、単発の啓発にとどまらず、継続的に数値で振り返ることができるよう、マイカー通勤時の燃費管理や、その結果を各自へ展開する取組も見られます。

さらに、燃費結果が表れる前の運転行動そのものに着目し、時間に追われない運転を促すことで、日常の中で無理なくエコドライブを実践してもらうことを目的として、ゆとりをもって運転できる推奨出勤時間を提示する取組も見られました。

このように、マイカー通勤におけるエコドライブの取組を工夫することで、業務中のエコドライブ意識の向上や運転行動の改善につながります。



上位事業者以外の特徴的な取組事例紹介（都道府県順）

上位受賞事業者以外の、参考となるような取組事例を紹介します。

▶ エコドライブBINGOキャンペーン

国際自動車株式会社T2 三鷹営業所

事業部門 優良認定証

エコドライブの継続的な実践を促すため、「エコドライブBINGOキャンペーン」を実施。

注意喚起や点呼時の呼びかけだけでは意識の定着に限界があるという課題意識から、楽しみながら取り組める仕組みとして企画した。キャンペーンでは、4×4の全16項目からなるエコドライブ行動を設定し、実践できた項目に丸を付けながらビンゴ達成を目指す。ビンゴの数に応じてくじを引くことができ、景品が当たる仕組みとすることで、参加意欲を高めている。

ゲーム性を取り入れることで、楽しみながらエコドライブに取り組める工夫がされている。



▶ フルトレーラー導入による輸送効率向上と環境負荷低減の取組

DINS関西株式会社

一般部門 優秀認定証

輸送効率の向上と環境負荷低減を目的に、2019年よりフルトレーラーを導入している。

従来は10tコンテナ車1台につき1基のコンテナしか輸送できなかったが、トレーラーでけん引することで、1回の運行で2基のコンテナを運用できる体制を構築した。燃費性能は10tコンテナ車が3.1km/Lであるのに対し、フルトレーラーは2.3km/Lと数値上は低下するものの、運搬効率が約2倍となることを考慮すると、実質的な燃費効率は4.6km/L相当となる。

これにより、輸送回数の削減と燃料使用量の抑制を同時に実現し、エコドライブと高効率輸送の両立につなげている。



▶ 個別分析に基づくエコドライブ教育の実践

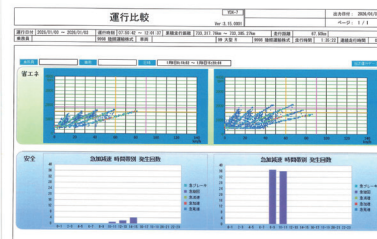
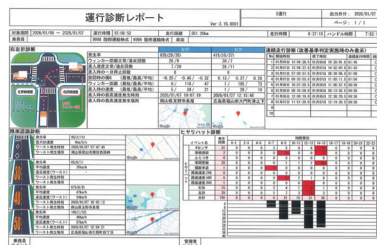
陸照運輸株式会社 水島営業所

事業部門

燃費のさらなる向上を目指し、ドライバー一人ひとりの運転状況をデータに基づいて分析している。

急加速・急減速が発生しやすい時間帯や、各ギアの使用頻度、交差点進入時の速度など、日常の運転行動を細かく把握することで、運転の傾向や課題を明確化している。こうした分析結果から、ドライバーごとの癖や改善ポイントを整理し、個別指導や教育に活用している。

客観的なデータに基づくフィードバックを行うことで、無理のない運転改善を促し、エコドライブの定着と燃費向上につなげている。



▶ アクセスチェッカーによる運転能力判定

中国運輸株式会社

事業部門

ドライバーの高齢化が進む中、加齢による身体機能や判断能力の変化が運転に与える影響を把握するため、専用の検査機を導入。

この検査機では、実際の運転行動に近い形で反応速度や操作の正確さなどを数値として計測し、客観的に評価することが可能である。測定結果に基づき、改善に向けた具体的なアドバイスも出力されるため、個々の状況に応じた指導や教育に活用している。

こうした取り組みにより、安全運転の確保とともに、無理のない操作を意識したエコドライブの実践につなげている。



環境に配慮した経営は企業の社会的責任

「グリーン経営認証」を 経営に取り入れてみませんか



国土交通省が推奨しています



業界団体も支援しています

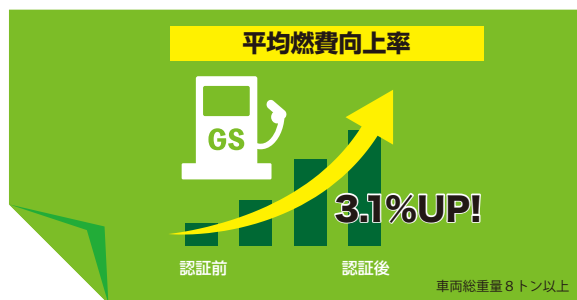


環境関連法、SDGsにも
対応しています

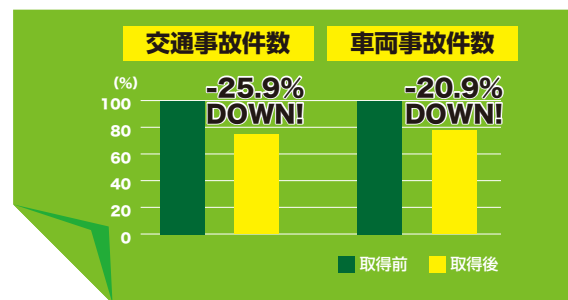


グリーン経営認証取得による効果が
期待できます

トラック事業：グリーン経営認証を取り入れた一例



認証取得2年後



認証取得1年後 (走行距離あたり)

(エコモ財団/グリーン経営認証取得による効果 - 2022年版-より抜粋)



公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 10階
TEL. 03-5844-6276 FAX. 03-5844-6294
グリーン経営認証専用ホームページ <https://www.green-m.jp>

